



農林水産省関東農政局

整備部

次 長 寺村 伸一様

国営両総地区は、平成5年着工以来、15年目を迎えており今年3月、第3揚水機場、東部幹線用水路が完成し、来年度には、本格的な通水を開始いたします。今年度は、昨年に続き、一宮川の松瀉堰、大須賀川の岩戸堰の工事を実施するとともに、第3揚水機場より下流の南部幹線用水路の工事を進めており、山武東部、南郷、福岡東等の各支線の工事を実施中です。

今年度、事業実施に当たりましては両総地区の農地、水資源等の既存ストックの有効活用を基本に、環境との調和への配慮、新技術の導入、事業コストの縮減、事業効果の早期発現など様々な事柄に努めてまいります。

存でございます。

なお、来年度農業農村整備事業予定としては、総額8,093億円（対前年比120%）を要求しております。このうち、関東農政局管内では、275億円の要求となっております。国営両総地区としましては、約70億円の要求をしております。また、新規の制度については農政改革を推進するため、農地の担い手への集積や耕作放棄地解消に向けた取り組みを開始するほか、引き続き「農地・水・環境保全向上対策」に取り組む所存です。既存の施設を十分な機能を持たせつつ長く使っていくためのストックマネジメントについても技術高度化対策を要求しています。

皆様の地域でも、積極的にこれらの制度を活用していただき、地域の活性化や永続的な基幹施設の利用への取り組み活動を展開され、先進的な地域になることを期待申し上げます。



千葉県農林水産部

技 監 寺川 準二様

農業情勢をとりまく環境が、非常に厳しい中で、千葉県では本県農業の持続的発展と農業産出額第2位奪回に向けての各種施策を展開しています。

農地や農業用水等の資源や環境の保全と質的向上を図るための「農地・水・環境保全向上対策」や、望ま

しい農業構造の確立と国際競争力の強化を目指した「品目横断的経営安定対策」また、農業生産基盤の整備を契機とした「担い手への農地利用集積の推進」、老朽化した基幹的な農業水利施設の機能保全対策を推進するための「基幹水利施設ストックマネジメント事業」など、生産性の高い効率的な農業の体質強化に向けた施策を進めることが重要と考えております。

県財政が非常に厳しい状況ではありますが、施策の重点化とコスト縮減に努め、活力ある地域農業の実現に向けて県施策の推進を図ってまいりたいと考えておりますので、今後とも、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 臨時総代会議事内容

提出議案は原案どおりすべて可決されました。

### 【提出議案】

- 第1号議案 委員の選任について
  - 第2号議案 平成18年度事業報告について
  - 第3号議案 平成18年度一般会計並びに特別会計収支決算について
  - 第4号議案 平成18年度財産目録について
  - 第5号議案 平成19年度団体営事業計画の変更について
  - 第6号議案 平成19年度一般会計収支補正予算（案）について
  - 第7号議案 平成19年度特別会計収支補正予算（案）について
  - 第8号議案 監査細則の改正について
- 報告事項 農地転用に伴う地区除外について

## 管理委員

下記の通り選任されました。

大網支部

鈴木 晟 義

本納支部

七五三野 暁二